

令和 8 年度

前期 講座

歴史文学塾

◎ハガキによる事前申込制

◆受講料

原則、五回分二千八百円を前払い
定員 先着 百五十名

◆申込み

募集期間 一月二十日～二月十日
ハガキに「歴史文学塾」、〒、住所、
氏名(ふりがな)、年齢、電話番号
をご記入の上、お申し込みください。

◆問合せ・ハガキ送り先

TEL 080-4390-3591
宇治市民大学歴史文学塾事務局 新井
〒611-0031
宇治市広野町宮谷34-127

特例…席に余裕がある場合に限り、各回単独受講
できます。(先着順、当日会場で受付け。

受講料…各回 千円)

生涯学習センター専用の駐車場はありません

宇治市民大学講座



市民による、市民と地域のための大学

主催
共催

宇治市民大学運営スタッフ会
宇治市生涯学習センター

テーマ 「詳説、占いと陰陽師の平安時代」

講師 京都女子大学文学部教授 中島 和歌子さん

3/14(土)	元は占い専門の国家公務員
4/ 4(土)	見えないものが見える
5/16(土)	病は「気」から
6/13(土)	天災・地異の原因や対処法を解明
7/11(土)	風水師・気象予報士・産科医として

講座時間 10 時～11 時半 (但し、最終回 7/11 (土) は 10 時～12 時)

●講座のねらい、ポイント *裏面に各演題ごとの「ひとこと」を記載。

陰陽師(おんようじ=職業名)は、平安時代に日本で誕生し、朝廷や天皇などからの公的な依頼に加えて、藤原摂関家をはじめとする貴族からの私的な依頼にも応じました。主な依頼内容の一つが占いです。占いは、重要な意思決定の手段でした。その点は今と大きく異なりますが、昔と今とあまり変わらない点も少なくありません。本講座では、陰陽師の職務のうちの占いを中心に、平安貴族社会を垣間見つつ、現代についても言及したいと思います。

中島 和歌子

会場 宇治市生涯学習センター

宇治市民大学 令和8年度前期講座

講師からのひとこと

中島 和歌子さん

3/14 元は占い専門の国家公務員

「〇〇師」は元々、律令で規定された各役所の官職名でした。宮内省管下の典薬寮という役所の場合は、「医師」「針師」「按摩師」「薬園師」などです。「陰陽師」は、中務省管下の陰陽寮(おんよりょう)の官職名で、職掌は占いでした。定員は何人か、どのような占いをしたのか、どのようにして占術や知識を身に付けたか、なぜ有名な「天文博士安倍晴明という陰陽師」は占い師としてのイメージがあまり強くないのかなどについて、お話ししたいと思います。

4/4 見えないものが見える

平安時代の陰陽師(職業名)は、式盤という道具を用いて占いました。何種類かありましたが、十世紀中に、重要事項の占いにも六壬(りくじん)式が採用されるようになります。中世末期までは、陰陽師の占いと言えば六壬式占でした。賀茂忠行による「射覆(せきふ)」の成功は、六壬式重視を促したと考えられます。「射覆」とは覆われて見えないものが何であるかをあてる占いで、晴明説話の源泉の一つにもなりました。これらを具体的に紹介していきます。

5/16 病は「気」から

病気の原因や名前をはっきり知りたい場合、今日では医師に診察してもらいます。平安時代にも医師はいましたが、より多くの人々が陰陽師に頼っていました。陰陽師の六壬式による占い結果には、食中毒や疫病、「風病」などの病名もありますが、多くは「物の気(け)」「神の気」といった霊や神などの祟りです。さらに、転地療養の可否などの治療法に関することや、治癒の時期なども占いました。具体例を紹介し、病因ごとの対処法にも触れます。

6/13 天災・地異の原因や対処法を解明

平安時代の陰陽師が、六壬式盤で原因を占った主なものは、病気のほかに、もう一つ、「災害」と「怪異」、合わせて「災異」がありました。「災異」は何かの予兆だと考えられていたので、原因だけでなく、何の予兆だったのか、凶事であればそれをどうしたら回避できるかなども、陰陽師が占いました。回避の方法として、古典文学作品にも散見する「物忌」があります。「五行相剋」など、物忌に関する基礎知識にも触れたいと思います。

7/11 風水師・天気予報士・産科医として

陰陽師は、「地を相(み)る」こともしていました。つとに上代から公務として都や山陵の建設用地などを選んでいましたが、平安中期以降、貴族の別荘地や寺の建立地などについても、助言するようになります。その延長線上にあるのが、朱雀は巨椋池など、平安京の四神の具体化です。また六壬式で占った事柄も、病や災異、射覆に限りませんでした。陰陽師が依頼を受け様々な占いをしていたことを、本講座のまとめを兼ねて確認します。